

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 鉦研工業株式会社
 コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 末永 幸紘
 (氏名) 三輪 美之

TEL 03-6907-7888

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,894	13.5	302	4.3	290	2.0	243	3.1
26年3月期第2四半期	3,430	31.1	290	—	285	—	235	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 241百万円 (3.4%) 26年3月期第2四半期 233百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	27.14	—
26年3月期第2四半期	26.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,551	2,074	27.5
26年3月期	6,924	1,832	26.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,074百万円 26年3月期 1,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	7,440	10.2	430	△16.1	400	△19.0	320	△21.2	35.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	8,970,111 株	26年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,203 株	26年3月期	3,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	8,966,912 株	26年3月期2Q	8,967,075 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期連結決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費や生産活動には弱い動きがみられたものの、政府・日銀による経済政策・金融政策の効果により、企業収益や雇用情勢は改善の兆しがみられ、設備投資も増加に転じるなど、全体として景気は緩やかな回復基調が続いております。

こうした中、当社グループでは、前連結会計年度より開始した「2013新中期経営計画」に基づき、売上の持続的拡大と収益体質の確立を上位目標として、機械本体及び部品・商品の売上拡大、研究開発の強化・新製品の開発、海外新興国市場の攻略、バリュー・エンジニアリング手法を活用した原価低減、新たな工事得意工種の確立を図ることにより、売上高を伸ばすとともに損益分岐点を引き下げるべく注力しております。

当第2四半期連結累計期間は、設備の更新需要や建設投資の増加を背景として、ボーリング機器関連及び工事施工関連の受注がともに伸びたことから、受注高は前年同四半期比69.3%増の4,411百万円となりました。

売上高につきましては、ボーリング機器関連は前年同四半期に比べて若干減少はしたものの、工事施工関連において、海外の完工高が大幅に増加したことにより、売上高は前年同四半期に比べ13.5%増加し、3,894百万円となりました。

利益面におきましては、工事施工関連の原価率が上昇したものの、売上高の増加により営業利益は302百万円（前年同四半期比4.3%増）、経常利益は290百万円（前年同四半期比2.0%増）、四半期純利益は243百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(ボーリング機器関連)

当セグメントにおきましては、国内販売は設備の更新需要や新規設備投資の動きが促進されたことにより機械本体及び部品の受注が増加し、海外販売は中国、韓国から機械本体などの受注が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比36.3%増の2,599百万円となりました。売上高は、海外販売は前年同四半期が大型ODA案件の売上があった反動で減少し、前年同四半期比65.1%減の213百万円となったものの、国内販売の売上が前年同四半期比23.4%増の1,923百万円であったため売上高は前年同四半期比1.4%減の2,136百万円となりました。売上は減少したものの、バリュー・エンジニアリング手法による購入部材費低減や現場改善による生産効率向上等により、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比5百万円減の140百万円を確保いたしました。

(工事施工関連)

当セグメントにおきましては、当第2四半期連結累計期間は海外工事の受注はなかったものの、国内における新たな先進ボーリング工事、大口径掘削工事の大型工事案件の受注により、受注高は前年同四半期比159.7%増の1,812百万円となりました。売上高につきましては、国内工事は先進ボーリング工事、大口径掘削工事、温泉工事等が完工し、海外工事においても2件の大型ODA工事案件が進行したことにより、前年同四半期比39.2%増の1,758百万円の売上高となりました。当第2四半期連結累計期間においては、売上高の増加により、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比13.6%増の162百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して627百万円増加し、7,551百万円となりました。

流動資産は、未収入金が85百万円減少しましたが、完成工事未収入金が247百万円、仕掛品が150百万円、商品及び製品が145百万円、受取手形及び売掛金が106百万円、原材料及び貯蔵品が88百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して640百万円増加し、5,889百万円となりました。

固定資産は、車両運搬具、機械装置及び工具器具備品などで71百万円の設備投資を行いました。77百万円の減価償却の実施により、前連結会計年度末と比較して13百万円減少し、1,661百万円となりました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して385百万円増加し、5,477百万円となりました。

流動負債は、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が110百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が417百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して295百万円増加し、4,126百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債及び役員退職慰労引当金が主に定年退職者等への支給により27百万円減少しましたが、長期借入金の資金調達等により126百万円増加したことにより、前連結会計年度末と比較して89百万円増加し、1,350百万円となりました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益243百万円を計上したことから、2,074百万円となり、自己資本比率は27.5%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し946百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、89百万円の収入（前年同四半期は508百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の計上283百万円、仕入債務の増加412百万円、未払費用の増加53百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加338百万円、未成工事受入金の減少51百万円、売上債権の増加246百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、73百万円の支出（前年同四半期は63百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出44百万円、担保預金の預入による支出28百万円であり、ます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7百万円の収入（前年同四半期は191百万円の支出）となりました。長期借入金は、300百万円の調達を行う一方、約定弁済により173百万円を返済いたしました。短期借入金は374百万円の調達に対し、485百万円を返済し、ファイナンス・リース債務は8百万円を返済いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年4月24日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成26年10月27日公表の「平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

(連結業績予想)

売上高	7,440百万円	(前期比	10.2%増)
営業利益	430百万円	(前期比	16.1%減)
経常利益	400百万円	(前期比	19.0%減)
当期純利益	320百万円	(前期比	21.2%減)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項ありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	987,065	1,038,079
受取手形及び売掛金	1,588,183	1,694,942
完成工事未収入金	288,023	535,226
商品及び製品	1,042,969	1,188,668
仕掛品	281,535	431,573
未成工事支出金	580,228	511,749
原材料及び貯蔵品	262,913	351,601
その他	220,163	140,143
貸倒引当金	△2,547	△2,840
流動資産合計	5,248,535	5,889,143
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	489,025	475,003
有形固定資産合計	1,568,591	1,554,569
無形固定資産	25,413	23,911
投資その他の資産		
その他	192,841	183,778
貸倒引当金	△111,280	△100,262
投資その他の資産合計	81,560	83,515
固定資産合計	1,675,565	1,661,995
資産合計	6,924,100	7,551,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,376,064	1,793,529
工事未払金	71,087	65,760
短期借入金	1,068,200	957,200
1年内返済予定の長期借入金	311,100	310,360
未成工事受入金	458,825	406,836
未払法人税等	93,240	48,195
賞与引当金	139,861	146,219
工事損失引当金	-	12,100
その他	312,224	386,215
流動負債合計	3,830,603	4,126,416
固定負債		
長期借入金	363,010	489,920
役員退職慰労引当金	93,489	84,518
退職給付に係る負債	528,967	510,751
資産除去債務	11,262	11,332
その他	263,980	254,083
固定負債合計	1,260,709	1,350,605
負債合計	5,091,313	5,477,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
利益剰余金	532,428	775,798
自己株式	△1,333	△1,338
株主資本合計	1,696,510	1,939,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,784	2,644
土地再評価差額金	162,100	162,100
退職給付に係る調整累計額	△27,607	△30,503
その他の包括利益累計額合計	136,276	134,242
純資産合計	1,832,787	2,074,117
負債純資産合計	6,924,100	7,551,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,430,866	3,894,787
売上原価	2,546,926	2,980,001
売上総利益	883,940	914,786
販売費及び一般管理費	593,605	611,905
営業利益	290,335	302,881
営業外収益		
受取利息	344	305
受取配当金	98	97
貸倒引当金戻入額	12,444	3,433
賞与引当金戻入額	220	-
為替差益	1,229	1,213
その他	5,734	5,496
営業外収益合計	20,072	10,547
営業外費用		
支払利息	23,482	21,221
支払手数料	768	287
その他	1,116	1,191
営業外費用合計	25,367	22,700
経常利益	285,040	290,727
特別利益		
固定資産売却益	4,588	-
特別利益合計	4,588	-
特別損失		
災害による損失	-	6,845
固定資産除却損	0	385
特別損失合計	0	7,231
税金等調整前四半期純利益	289,628	283,495
法人税、住民税及び事業税	53,839	40,123
法人税等調整額	△189	2
法人税等合計	53,649	40,125
少数株主損益調整前四半期純利益	235,978	243,369
四半期純利益	235,978	243,369

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	235,978	243,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	470	860
退職給付に係る調整額	△2,957	△2,895
その他の包括利益合計	△2,487	△2,034
四半期包括利益	233,491	241,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,491	241,335

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	289,628	283,495
減価償却費	69,205	77,543
有形及び無形固定資産除却損	0	385
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,195	△10,724
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,585	6,358
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△32,691	△21,111
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,274	404
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△22,200	12,100
受取利息及び受取配当金	△443	△403
支払利息	23,482	21,221
為替差損益 (△は益)	△98	△159
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△4,588	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△175,426	△246,228
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	150,902	△51,988
前受金の増減額 (△は減少)	△6,528	20,814
たな卸資産の増減額 (△は増加)	153,652	△338,741
仕入債務の増減額 (△は減少)	89,127	412,437
前渡金の増減額 (△は増加)	3,788	△2,066
未払費用の増減額 (△は減少)	△47,949	53,147
その他	33,905	△15,809
小計	538,429	200,675
利息及び配当金の受取額	379	410
利息の支払額	△22,414	△18,943
役員退職慰労金の支払額	—	△9,375
法人税等の支払額	△20,184	△83,355
法人税等の還付額	12,410	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,620	89,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△69,080	—
定期預金の払戻による収入	900	—
担保預金の預入による支出	—	△28,106
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,692	△44,209
有形及び無形固定資産の売却による収入	8,665	—
その他	△220	△1,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,428	△73,691

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	257,000	374,000
短期借入金の返済による支出	△266,800	△485,000
長期借入れによる収入	80,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△229,240	△173,830
社債の償還による支出	△25,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,937	△8,137
その他	△10	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,987	7,027
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	159
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253,302	22,906
現金及び現金同等物の期首残高	369,339	923,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	622,642	946,286

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,168,182	1,262,683	3,430,866	—	3,430,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,582	—	4,582	△4,582	—
計	2,172,765	1,262,683	3,435,449	△4,582	3,430,866
セグメント利益	145,569	143,225	288,794	1,540	290,335

(注) 1. セグメント利益の調整額1,540千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,136,750	1,758,037	3,894,787	—	3,894,787
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,342	—	2,342	△2,342	—
計	2,139,092	1,758,037	3,897,129	△2,342	3,894,787
セグメント利益	140,228	162,708	302,937	△55	302,881

(注) 1. セグメント利益の調整額△55千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。